

(財)日本医療機能評価機構認定病院

地域医療支援病院

盛岡赤十字病院地域医療連携室広報誌



LEAF

令和5年6月
第47号
盛岡市三本柳 6-1-1
盛岡赤十字病院
地域医療連携室
発行責任者 院長 久保直彦

<基本理念>

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、
みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。



写真：花壇のビオラ

特集

副院長就任挨拶

リウマチ・膠原病内科外来開設について 新任医師・研修医紹介



副院長 一戸 克明

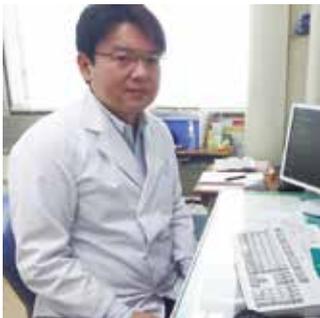
各医療機関の皆さま、日頃は当院の運営にご支援・ご指導をいただき厚く御礼申し上げます。この度、盛岡赤十字病院副院長を拝命いたしました一戸克明と申します。整形外科医として平成18年4月に赴任し17年間、外傷、関節外科、スポーツ整形外科、脊椎など整形外科一般の診療に従事してまいりました。この間、2011年には東日本大震災、ここ3年は新型コロナに苛まれ診療がストップせざるを得ないことが幾度かありました。コロナ禍では診療を継続するためタブレットを使ったリモート診察や電話再診など新しい診療形態も生まれております。しかし、患者さんを診るといふより見るという間接的診療であり、限界を感じることも多々ありました。高校野球甲子園大会の優勝監督の「青春は密」との言葉をおかりすれば「医療も密」であり、患者さんを直接診察し、見るのではなく診なければならないと再認識しております。当院には「人道・博愛の赤十字精神にもとづきみなさまの生命と健康を守るために信頼される医療の実践」という基本理念があります。可能な限り信頼される医療を提供し地域医療に貢献したいと思っております。各医療機関の皆様、今後ともよろしくお祈りいたします。

リウマチ膠原病内科外来（総合診療科 特殊外来）の開設について

この度、当院にて毎週水曜日にリウマチ膠原病内科を担当させて頂くことになりました細野祐司と申します。盛岡での生活は初めてですが、こちらに来てからとても優しく温かい土地柄に触れることが多く、居心地の良さを非常に感じています。

私が担当するリウマチ疾患は、その名前は「rheuma」という「流れ」を意味するギリシャ語が語源となったと言われており、関節症状のみならず肺、腎臓など多臓器に障害が及ぶ全身性疾患です。関節リウマチをはじめとする膠原病治療は、私が医師になった頃とは大きく進歩しており、生物学的製剤やJAK阻害薬といった薬剤の登場により症状の改善はもとより、患者さんが病気を意識せず生活を行うことが可能な寛解状態の導入が可能となりました。必要に応じて岩手医科大学附属病院と連携を図りつつ、「not too early, not too late」の考えのもとで患者さんそれぞれの状態にあった治療を提案できればと思います。

また、糖尿病、高血圧、脂質代謝異常をはじめとするさまざまな併存疾患が高頻度に認められ、日常生活や背景など、皆様との今後一層の連携、ご支援を頂ければ幸いです。微力ながら皆様のお役に立てるよう努力して参りたいと思っております。



●リウマチ膠原病内科（総合診療科の特殊外来）の御案内

- ・診察日時…水曜日（祝日をのぞく）8時45分～11時
- ・受診方法…外来申込書と診療情報提供書を当院地域医療連携室へお送りください。外来日をご案内いたします。

※総合診療科の特殊外来ですが、診察は整形外科外来で行います

地域医療連携室 予約受付時間

【FAX】019-637-3313（専用）【受付時間】平日 8:30～16:50

【電話】019-637-3312（直通）【受付時間】平日 8:30～17:00

※休日（土日祝日・創立記念日5月1日・年末年始12月29日～1月3日）

新任医師のご紹介



泌尿器科副部長 加藤 陽一郎
(カトウ ヨウイチロウ)

一言：このたび、盛岡赤十字病院泌尿器科で勤務させていただくこととなった加藤陽一郎です。ご紹介いただいた患者さんについては、紹介してもらってよかったですと患者さんに思っていただけのように、最大限全力で適正に対応させていただきます。至らぬ点多々あるかと思いますが、何卒ご指導のほどよろしくお願いたします。



整形外科副部長 川原田 圭
(カワラタ ケイ)

一言：宮古市出身ですが、大学から福島に行き、この4月から20年振りに岩手に戻って参りました。少しでも岩手の皆様のお役に立てるよう、出来る範囲で頑張らせて頂きたい所存です。



整形外科医師 小原 崇裕
(オハラ タカヒロ)

一言：精一杯診療させていただきます。ご指導のほどよろしくお願いたします。



耳鼻咽喉科副部長 及川 伸一
(オйкаワ シンイチ)

一言：地域の皆様のために耳鼻科診療を頑張らせて頂きます。



放射線科副部長 曾根 美都
(ソネ ミサト)

一言：画像診断を通じて先生方や患者さんのお力になれるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。



総合診療科医師 井上 俊樹
(イノウエ トシキ)

一言：4月から総合診療科の専攻医として、内科ローテート研修をさせていただいております。一人前の医師として必要な能力を身につけていくとともに、初心を忘れずに診療することを心がけていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



消化器外科副部長 西成 悠
(ニシナリ ユタカ)

一言：ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



外科医師 奥津 美里
(オクツ ミサト)

一言：未熟者ではありますが、精一杯頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



外科医師 清川 真緒
(キヨカワ マオ)

一言：何事にも積極的に挑戦したいと思っております。よろしくお願いたします。



麻酔科副部長 永塚 綾
(エイヅカ アヤ)

一言：昨年度までは岩手医科大学附属病院で勤務し、今年度から盛岡赤十字病院でお世話になることになりました。育児時短での勤務で迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いたします。



産婦人科医師 大塚 遥
(オオツカ ハルカ)

一言：なんでも頑張ります。



研修医のご紹介



研修医 橘 賢一

(タチバナ ケンイチ)

一言：何事も挑戦する気持ちで臨んでいきたいと思ひます。



研修医 小林 健太郎

(コバヤシ ケンタロウ)

一言：医療は日進月歩なので、患者さんに最善の医療を提供できるように、日々学び続けていきたいと思ひます。2年という短い期間ですが、よろしくお祈りします。



研修医 山田 夏鈴

(ヤマダ カリン)

一言：1日前の自分よりも確実に進歩できるように、毎日の仕事と日々の振り返りをしっかりやっけていきたいと思ひます。ご指導よろしくお祈りいたします。



研修医 丹羽 順子

(ニワ ジュンコ)

一言：2年間幅広く経験して、同期と一緒に成長していきたくて思ひます。



研修医 後藤 麻耶

(ゴトウ マナ)

一言：積極的に取り組むことを意識して頑張ります。



研修医 川村 祐太

(カワムラ ユウタ)

一言：充実した研修になるよう、一日一日を大切に過ごしていきたくて思ひます。



研修医 近藤 有佳

(コンドウ ユカ)

一言：不安でいっぱいですが、元気に頑張りたいと思ひます。よろしくお祈りします。

